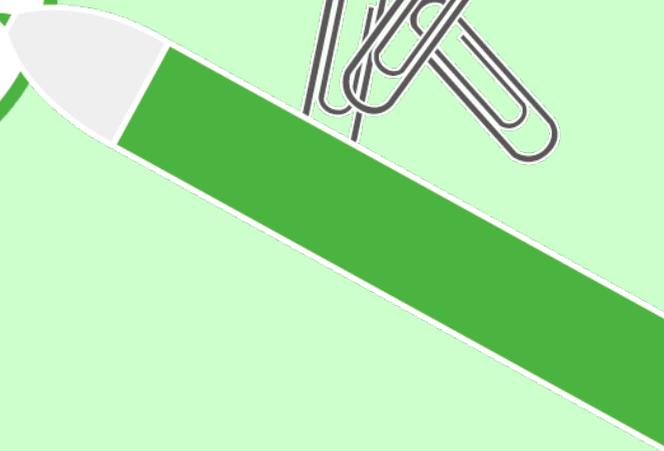
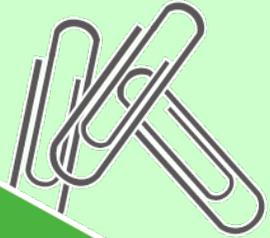
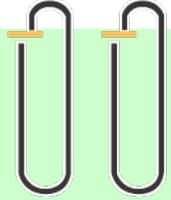


# さくっと

テーマ

ワクチン副作用  
をどう捉えるか



「さくっと」とは？

興味のある分野について、さくさくと勉強が進むように作成された調べ方ガイド(パスファインダー)です。みなさんの学習支援を行う図書館学生サポーターが作成しました。

ぜひ学習の際に参考にしてください。

図書館学生サポーター 苗崎

## 1. 現在を取り巻く状況

ニュースや報道などでは、新型コロナウイルスワクチン接種後に副作用により亡くなったという事例が取り沙汰されています。この状況を我々はどのように受け止め、接種するか否かを判断すれば良いでしょうか。私事ですが、私には100歳を超える曾祖母がおり、ワクチンを接種するかどうか家族会議がありました。結論はまだ出ていませんが、そこで出たのが「副作用による死亡のリスク」です。

理系という立場から見ると、ワイドショーに出演している専門家の発言を鵜呑みするだけでなく、研究機関が発表しているデータをもとに自分の頭で考えてみたいという動機でこの記事を書いています。

- テーマに関するキーワード  
ワクチン、副作用、有効性、臨床試験、PMDA

## 2. 副作用ってそもそも何？

我々は病気になった時(あるいは特定の病気を回避するため)、薬やワクチンに頼ります。医薬品として市販されているものにも当然「副作用」があり、その程度が著しいもの(重篤であると認められるもの)に限っては薬剤師による説明と処方が行われています。では一体「副作用」とは何なのでしょう。

### 副作用とは

望まれる症状の改善以外に現れる別の症状のことを指します。例として、「花粉症の薬を飲んだら、鼻水は治ったけど胃が痛くなった」などです。副作用が報告されている薬を飲むと必ず起きるというわけではありません。副作用の程度には個人差があり、顕著なものだとアナフィラキシーショック(アレルギー反応の一種。ひどいものでは、呼吸困難や発作など生死に関わる)があります。

### PMDAとは

医薬品医療機器総合機構(Pharmaceuticals and Medical Devices Agency)は、医薬品の副作用や食品による健康被害に対して、国民を保護するために設立された組織です。同組織は販売前の医薬品について、治験から承認までを一貫した体制で審査し、安全性に関する情報を広く開示します。特に副作用が疑われる症例をまとめたデータベースを有しており、医療従事者をはじめ多くの人々が利用できます。

### 3. 厚生労働省が進めるワクチン接種の概要

ワクチン接種の基本的なスタンスとして、**発症および重症化を予防すること**を目的としています。「ワクチンを摂取すれば感染しないこと」を保証するわけではありません。理由として、まずその効果を臨床試験で実証するのが非常に難しいためです。感染する要因は様々挙げることが可能ですが、感染しなかった要因がワクチンであると断言するのは、多くの条件で行った結果と比較する必要があり、事実上不可能です。そのため厚生労働省は臨床試験で実証することが可能である「**発症及び重症化予防**」に主眼を置いてワクチン接種を進めています。

#### ワクチンの効果について

##### 感染予防

接種した人が感染しない

- 感染予防効果は実証しにくく、臨床試験で確認することは稀。
- 発症しない感染者が多数存在する新型コロナウイルスでは、実証はほぼ不可能と考えられる。

実証が難しい

##### 発症予防

発症者が減少

- 接種者と非接種者を比較する臨床試験等で、両群の発症者の数を比較することで、効果を測定できる。

臨床試験（治験）等で評価を行うことができる

##### 重症化予防

重症患者が減少  
(死亡・入院等)

- 接種者と非接種者を比較する臨床試験等で、両群の重症者の数を比較することで、効果を測定できる。

##### 集団免疫効果

接種していない人にも波及する予防効果

大規模な接種後まで  
分からない

- 集団免疫効果は、「接種した人が増えると、接種していない人でも発症者が減少する」ことで実証される。
- 集団免疫効果がみられるのは、
  - ・ワクチン自体に感染/発症予防効果がある。
  - ・接種率が（基本再生産数に応じた閾値より）高い
  - ・ヒト-ヒト感染する感染症である。等の条件が満たされたとき
- 実際に接種者が増えた後、集団免疫効果が判明すれば、ワクチンにより感染させない効果があったことが明らかになる。

例：インフルエンザワクチンでは、一定の発症予防効果（研究により20から60%）や、重症化を予防する効果が示されているが、集団免疫効果はこれまで実証されていない。

ワクチン効果の概要(厚労省資料より抜粋[1])

### 4. 最新動向をチェック！

順天堂大学が報告したワクチン接種後の経過観察[4]を引用する。同報告は約2万人を対象に調査した。

- ・発熱(37.5度以上)は1回目接種と比較して、**2回目接種後に発生しやすい**。
- ・年代別で見ると、若い世代(20、30代)における発熱の割合が約50%と顕著である。
- ・全身の倦怠感は、年代問わず**2回目接種後に高い傾向で発生する**。

## 接種後に発生した顕著な副作用

- 1回目接種後に88件、2回目接種後に81件報告されている。(6月23日時点)
- 重大な副作用として、**失神寸前**(9件)および**アナフィラキシーショック**(2件)が報告されている

## 5. ワクチン副作用の受け止めと対処方法

ワクチン接種による副作用として、可能性が高いのは「**発熱、全体の倦怠感**」です。生死に関わる副作用が報告されている症例は数十件であり、全体の母数(数万件)と比較すれば0.1%程度です。重要なのはリスクをどう取るかであり、コロナ感染の可能性をとるか、ワクチンによる副作用の可能性をとるかは個人に委ねられます。接種後に副作用が発生した場合の対処法を以下に示します。

### 対処方法

#### • 十分な水分補給

副作用である発熱・全身の倦怠感に伴い合併症状として、脱水症状が懸念されます。経口補水液などを用いて十分な水分補給を心がけましょう。

#### • 深呼吸、ストレッチ

倦怠感などは、血の巡りが悪いことにより起因している場合があります。無理のない範囲で深呼吸と体のストレッチを行いましょう。ラジオ体操などがおすすめです。

#### • 患部を冷やす

筋肉注射した箇所や頭部の発熱が報告されています。氷や冷えピタを活用し、患部の冷却に集中しましょう。

## 6. 更なる理解のために

本文を作成する上で参考にした資料を以下に示す。

[1] <https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000680224.pdf>

[2] [https://www.huffingtonpost.jp/entry/satoru-ishido\\_jp\\_5e33f5fcc5b69a19a4ad4c28](https://www.huffingtonpost.jp/entry/satoru-ishido_jp_5e33f5fcc5b69a19a4ad4c28)

[3] <https://www.gakushuin.ac.jp/~881791/fakeS/PE06.html>

[4] <https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000796565.pdf>

[5] <https://www.pmda.go.jp/about-pmda/outline/0001.html>

### ◆九工大図書館に所蔵されている関連書籍

#### 『風邪の効用』

著者：野口晴哉

出版者：筑摩書房

資料ID：001044712

所在：戸畑本館 閲覧室3階

請求記号：493.8/N-6